

平素は弊社商品をご愛顧頂き、誠に有難うございます。  
 また、「TOWA KOSAN OIL Tech. & NEWS」をご愛読頂き、重ねて御礼申し上げます。  
 本号は**中東情勢特集号**とし、下記TOPICSを掲載いたします。

## TOPICS

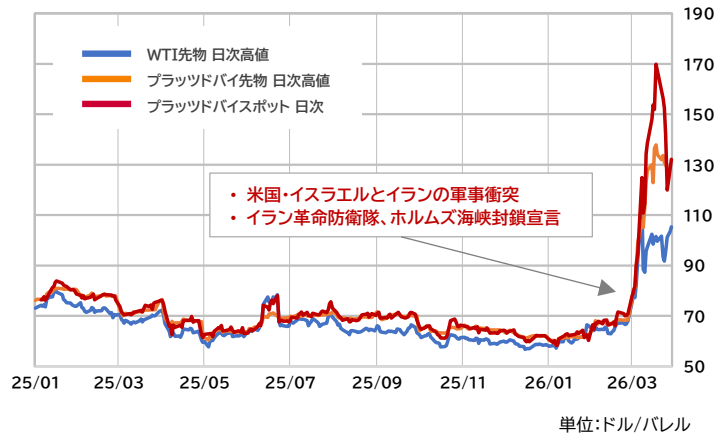
- 原油環境の想定
- イラン情勢の概要
- 弊社取り扱い製品への影響(3/31時点)
- 弊社方針について

### 原油環境の想定

#### 上昇要因

#### 下落要因

需給	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中東湾岸諸国のインフラ損傷とそれに伴う供給量減少</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・IEA加盟国による備蓄放出</li> <li>・米国原油在庫の増加</li> </ul>
金融経済	<ul style="list-style-type: none"> <li>・供給不安を背景とした投機資金流入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期金利上昇による景気減速懸念</li> </ul>
地政学	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イラン戦争の長期化懸念</li> <li>・ホルムズ海峡の実質封鎖長期化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・停戦交渉などによるイラン戦争早期終結への期待感</li> </ul>



## Comment

米国・イスラエルによるイラン攻撃の報復として、ホルムズ海峡が実質封鎖され原油価格が高騰。ドバイ原油のスポット価格は一時170ドルに迫った。足元では対話の兆しが見られ、極端な供給不安が後退したことで原油価格は下落して推移しているが、原油の再高騰が起きれば、原油輸入の90%以上を中東に依存している日本経済には深刻な打撃となる。

### イラン情勢の概要

#### 軍事衝突の経緯

- 2月26日 米・イラン核協議が決裂
- 2月28日～ 米国およびイスラエルがイランに対して大規模攻撃を開始  
イランによる報復でホルムズ海峡が事実上封鎖

#### 日本国内産業への影響

- 日本の原油輸入は90%以上を中東に依存
- ホルムズ海峡封鎖により、4月上旬以降は中東からのタンカー輸送による原油供給が停止する見込み
- 日本には254日分の原油備蓄があり、現状、45日分の備蓄放出が決定されている
- 供給不安から元売り各社が在庫積み増しを実施しており、市場への製品供給が抑制されている
- 燃料油や石油製品の生産現場への供給に影響が及び、4月以降も改善の兆しは見えていない

イラン情勢に関する  
 経済産業省情報サイトはこちら

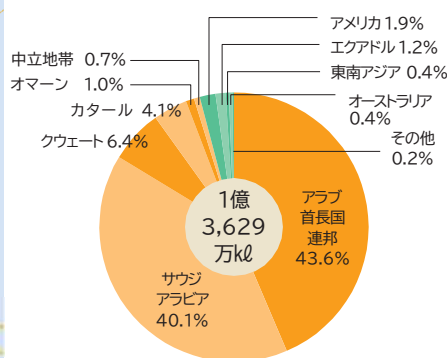


中東情勢関連対策  
 ワンストップポータル

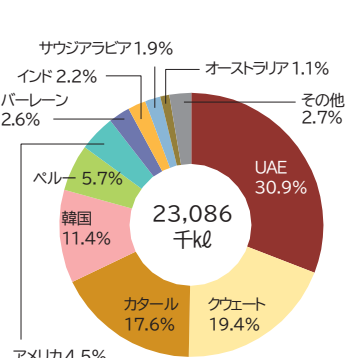
#### 中東からの輸入経路



#### 原油の輸入



#### ナフサの輸入



## 弊社取り扱い製品への影響(3/31時点)



- 通常営業を継続
- ガソリン・軽油・灯油の供給制限は発生していない



- 原材料である輸入ナフサの供給が減少
- 一部製造装置が停止し、化成品・樹脂ともに大幅な減産と供給不足が発生



- 製油所の稼働率低下および元売りの在庫積み増しによりマーケットへの供給量が急減
- 無印ローリーによる業者間転売の安価な供給は皆無となり、メーカー出荷分も前年同月比を下回る割当
- 燃料油を使用する生産現場では、必要量の確保が困難な状況となっている



- 原油価格高騰に伴い、4月のメーカー価格改定は大幅値上げとなった
- これを受け、3月末に駆け込みオーダーが集中し物流が混乱中
- 原材料・添加剤の調達難により、一部製品で受注停止措置や供給量の制限が行われている
- 指標であるドバイ原油高騰が続いており、5月も追加値上げが予想される



- 原油に比べて中東依存度が低く、米国・豪州など多方面からの輸入ルートが確保されている
- 現時点では供給制限なし

## 弊社方針について

### 1. 供給見通しについて

現在、日本国内においては国家備蓄を含めた原油在庫が一定水準確保されており、直ちに供給が途絶する状況ではございません。一部の石油化学製品や潤滑油製品につきましては、原料事情等を背景に、メーカー側で出荷調整が行われているケースやオーダー集中による配送の混乱が発生しております。

### 2. 当社の基本姿勢

東和興産では、仕入先各社からの情報を踏まえつつも、「当社として責任を持ってお客様に向き合う」ことを最も重要と考えております。

- お客様の実需を最優先に考えた配分・供給を行うこと
  - 情勢や条件変更が生じた際には、可能な限り早く、正確にお伝えすること
- これらを徹底し、お取引の継続性と信頼関係を守る行動を取ってまいります。

### 3. 価格動向について

原油・原料価格の上昇に伴い、弊社仕入条件も大きく変動しております。  
急激なコスト上昇分の転嫁をやむを得ずお客様にお願いしている状況でございます。

### 4. 今後について

今後の情勢次第では、需給・価格ともに変化が生じる可能性があります。  
当社としては引き続き、供給継続に全力を尽くしてまいります。  
ご迷惑やご心配をお掛けいたしておりますが、  
今後とも、東和興産株式会社を何卒よろしくお願い申し上げます。

